

一般社団法人びっくりエコ発電所

2014年度事業計画（案）

0. 基本方針

発電事業の規模拡大に伴い、一定の事業基盤は構築できたものと認識。

収支の見極めと事業の早期安定化を図るとともに、環境学習・教育プログラムの充実を図る。

1. 市民等による再生可能エネルギー源の導入実践事業

1-1. 西京高校における市民協働発電事業（2013年3月開始分）

1-2. 大將軍小学校、西京まち美化事務所、大枝中学校、春日丘中学校における市民協働発電事業（2014年3月開始分）

2. エネルギーを中心とした環境問題を、多角的に捉えるための研究・調査・学習会事業

2-1. 京都市のエネルギービジョンを描くための基礎調査事業

2-2. 市民協働発電制度や類似制度の比較調査・発信事業

2-3. 発電事業から得られたデータを検証し、不確定要素（劣化度合い）な部分を解明

2-4. 出資者や市民および、発電施設の方々が太陽光発電を身近に感じて貰うことを目的に一般用IDを開放

3-1. 市民協働発電実践校における環境教育の展開

- ・ 西京高校
- ・ 大將軍小学校
- ・ 大枝中学校
- ・ 春日丘中学校

3-2. びっくり！エコ実行委員会と連携した、普及・啓発事業の実施（参考資料①参照）

3-3. ホームページ・フェイスブックを活用した情報発信

3-4. 当団体及び活動の輪を広げるためのパンフレット等の作成

3. その他

4-1. 賛助会員の募集

4-2. その他

【参考資料①】

びっくり！エコ実行委員会の2014年度事業計画（案）

1. 基本的な考え方

「びっくり！エコ実行委員会」（びっくり！エコ100選や京都議定書バースデー企画等を実施）は、市民×学×産×官の協働で、環境配慮行動の底上げや、環境配慮商品・サービス・活動の発信・ネットワーク化を目指して2005年より活動が続けてきた。京都議定書第一約束期間の終了に伴い、2013年1月に、新たなステージを目指して、本実行委員会を母体とする「一般社団法人びっくりエコ発電所」を立ち上げ、市民協働発電事業への参画を始めた。これにより、環境・エネルギー問題の担い手／実践者としての実績を積んでいきたいと考えている。

主には、これまで同様、次のような役割分担で進める。

- びっくり！エコ実行委員会・・・幅広い環境問題に関する普及啓発・教育活動を中心に展開する
- 一般社団法人びっくりエコ発電所・・・エネルギー関連事業を担う

2. びっくり！エコ新聞の発行

- ・ 発行予定日：6月、11月
- ・ 配布先：京都市立の小中高（11万部）、児童館・学童（3千部）、高島屋京都店・洛西店（500部）ほか
- ・ 6月号
TOP：野口健氏×西本清一先生×酒井伸一先生、各発電
特集：10年後予測「ごみ」、ごみ関連施設見学（子供記者）
 祇園祭のごみ調査結果&協力呼びかけ・モニター募集
定番：エコ俳句・川柳・まんが・発明募集・講評、プレゼント等
- ・ 11月号
TOP：ゲスト×理事×理事
特集：10年後予測「???」、関連イベント等見学（子供記者）
- ・ 子供記者活動支援
- ・ WEBへの記事連動

3. 祭美人プロジェクト

- ・ 「祭美人」を生み出すプロジェクトを、主に祇園祭の後祭にて実施する。
- ・ 祭美人とは？・・・祭の歴史や想い、ツウの楽しみ方を学んだ上で、祭を味わい楽しむ人。当然、ごみなども出さない参加スタイルで。
- ・ 日時：祇園祭の後祭（山鉾巡行は7月24日）に向けて展開する。
- ・ 概要：次の3つのツアーを、関係者と連携してプロデュースする。
 - 留学生向け・・・京都大学や関連事業を通じて募集
 - 小学生向け・・・びっくり！エコ新聞紙面で募集
 - VIP向け